授業科目名： サッカー	教員の免許状取得のための の 必修科目	単位数： １単位	担当教員名：大槻　茂久・奥山　靖彦・青葉幸洋・福士　徳文・澤野宏之 担当形態：オムニバス

実務内容 （実務家教員の場合）	
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目 （中学校及び高等学校保健体育）
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 体育実技

「学位授与の方針」との関係
ＡからＦの項目すべてに該当する。

授業の到達目標及びテーマ
（１）ゲームの中で自己の技術の活かし方、向上させる術を知る事が出来る。
（２）思考力・判断力・表現力を高める事が出来る。
（３）仲間と協力して戦術を思考し、コミュニケーションの取れたゲーム展開が出来る。
（４）サッカーの指導方法の他、競技運営方法や審判法を理解し実践出来る。

授業の概要
　サッカーは老若男女を問わず世界中で最も親しまれ、特に青少年に於いては人気の高いスポーツである。その為、中学校、高等学校にて体育科の授業での教材として用いられる事も多いと思われ、保健体育科教員として、その指導法の習得が重要課題になると思われる。そこで、サッカーの本質を理解して基本的な技能や戦術を習得し、質の高いゲーム展開方法を学習する。また、サッカーの指導方法の他、競技運営方法や審判法を理解し実践するための方法などを伝えて行きたいと考えている。

授業計画

第１回：（講義）ガイダンス、授業の心得、進め方、成績についての説明、競技規則について
第２回：コミュニケーション
第３回：W-UP,ボールフィーリング
第４回：シュート
第５回：ドリブル
第６回：パスとコントロール
第７回：守備
第８回：（講義）サッカーの原理・原則、ルール
第９回：状況判断
第１０回：攻守の攻防・切り替え
第１１回：（講義）サッカーの指導法・指導計画
第１２回：指導実践①
第１３回：指導実践②

第１４回： ゲーム 第１５回：筆記試験、まとめ 定期試験（実技試験）
教科書 　特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。
参考文献 （１）ボールゲーム指導事典（G.シュテーラー他、唐木國彦監訳、大修館書店、1993 年） （２）ボール運動・球技の授業づくり（鈴木直樹他、教育出版、2010 年） （３）球技の戦術体系序説（稲垣安二、梓出版、1989 年） （４）両足キッカーを目指せ!!改訂版～フットサル＆サッカー1 週間で右も左も自由自在～（米山隆一、マイナビ出版、2016 年） （５）1 対 21 のサッカー言論～個人力を引き出す発想と技術～（風間八宏、二見書房、2010 年） （６）中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　保健体育編 （７）高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　保健体育編
学生に対する評価 　実技評価（８０％）、スクーリング評価（２０％）を総合して評価する